

サクラソウ日記

自学ノート提出数累計
320冊(240人) 9/29 現在
文責 校長 宮脇 真一

2年5組担任の米村教諭は、11月に出産を控えており、28日の授業を最後に産前休暇に入りました。本校では現4年生、そして現2年生を昨年度から担任していただきました。「今は我が子の名前を考えています。みなさん一人一人の名前には、家族の思いがこもっています。大事にしてください」とのことば、しっかりと受け止めます。後任の担任は、6月に現場復帰した徳淵教諭が務めます。



米村先生 どうぞお元気で
(令和4年9月28日撮影)

～道徳の研究授業～ 6年1組

先週のようですが、21日（水）は、6年1組で道徳の研究授業が行われました。テーマは「6年生としてできること」。よりよい学校にしていくために、6年生としてどんな事ができるか考え、集団における自分の役割の自覚と学校生活を充実させる実践意欲を促すことがねらいです。

子どもたちは、授業の冒頭で示された教材文の3つの考え方について、自分自身の日々の生活をもとに、自分の立場を決めて話し合いをしました。その様子は真剣そのもの。「自分ごと」として物事を捉えようとする姿は、見ていた先生方にたくさんの学びを提供してくれました。

今回は、熊本市立一新小学校の須藤校長先生（熊本県道徳教育研究会副会長）にも講師として授業を参観していただきました。児童が「自分ごと」として考え、議論する姿を高く評価いただくとともに、道徳の学習では、どうすればいいかという具体的な方法論ではなく、実践意欲の源となる心情を養うことが大事であるという指導もいただいたところです。6年1組の児童と片岡教諭・工藤教諭の提案授業をもとに、道徳の授業の在り方について深く学ぶことができました。



「自分ごと」としての話し合い



片岡先生と須藤校長

～先輩たちが帰ってきました～ 大津中職場体験

27日（火）から3日間、本校の卒業生7名が、「職場体験」の学習で、大津小学校に帰ってきてくれました。授業と一緒に参加したり、時には小学生の指導をしたりして過ごしていました。また、火曜日は椅子に付けるテニスボールの穴あけ、水曜日はペンキを使った駐車場のライン引き、そして木曜日はサクラソウの移植作業も手伝ってくれました。控室のまわりでは、在校生が中学生を取り囲み「先生！先生！」と大賑わい。立派な「先生」ぶりでした。



「仕事」を経験する中学生

在校生が中学生を取り囲み「先生！先生！」と大賑わい。立派な「先生」ぶりでした。